

生徒アンケートより（回答数 741人）

質問項目	R7 三田市	R6 三田市	R5 三田市
1 家庭での会話が増えた。	47.5%	50.2%	46.4%
2 充実していた。	85.6%	84.9%	82.5%
3 考えや行動に影響があった。	61.5%	65.0%	66.3%
4 決めたことに責任を持つようになった。	56.1%	56.1%	57.5%
5 進路や将来について考えるようになった。	47.6%	49.1%	48.5%
6 機会があればまたやりたい。	76.1%	74.7%	76.2%
7 知り合った人を訪ねたい。	45.3%	44.1%	42.9%
8 感じたこと(複数回答可)			
①達成感や自信	62.2%	62.9%	67.5%
②働くことの大切さ、厳しさ、楽しさ	88.0%	88.8%	88.2%
③人とふれあうことの楽しさ	63.0%	60.0%	62.2%
④コミュニケーションの大切さ	76.7%	80.4%	83.3%
⑤大人の人への優しさ	63.7%	62.9%	59.6%
⑥保護者や大人の人への感謝の気持ち	57.6%	57.8%	58.0%
⑦社会のルールやマナーの大切さ	68.3%	69.5%	72.4%
⑧学校で学んだり、活動する目的の大切さ	37.0%	37.1%	39.2%
⑨人のために役立つうれしさ	58.3%	58.1%	59.6%

- ・先生や、知っている大人も近くにいない状況での活動だったので、目上の人と話しているという実感が湧きました。まだまだ未熟だけど、お世話になった人のように立派な人間になって、社会で活躍したいと思いました。
- ・仕事は色々な人の役割で成り立っていることが分かった。私は病院での活動だったが、どの立場の仕事もなければ成り立たないことが分かった。自分が任された仕事をしっかりできるように、責任感のある大人になりたい。
- ・この5日間で、コミュニケーションの大切さが一番印象に残った。これから学校生活や日常でも、誰に対しても丁寧に対応できる人でありたいと思いました。
- ・学んだことは積極的に行動することです。自分から学ぼうという気持ちがないと、限られた時間の中で吸収できないと思った。今後にかかしていきたい。
- ・不安だったけど、丁寧に教えてくださったおかげで少し自分も成長できたと思う。
- ・仕事には厳しいことや、しんどいこともあるけど、それを乗り越えてからの楽しいことや達成感が凄いと感じました。それを信じて充実した、今の生活を頑張りたい。
- ・事業所の方や、今まで先生たちが準備してくれてくれたからトライやる・ウィークに参加できたので、まず感謝したい。その気持ちを忘れずに、今後にかかしたい。
- ・トライやる・ウィークで、仕事の大変さがとても分かった。自分の親が働いてくれていることが当たり前だったけど、この機に感謝しようと思いました。
- ・ある方に「何事にも全力に取り組んだら、その分の結果はついてくるよ」と教えてもらいました。何もしないで諦めることがあるので、諦めずに挑戦したいです。
- ・事業所に自転車で行かせてほしい。公共交通機関だと遠回りで時間が倍かかった。

教職員アンケートより（回答数 50人）

質問項目	R7 三田市	R6 三田市	R5 三田市
1 一人一人を大切にした。	76.0%	70.5%	80.6%
2 生徒たちに変化が見られた。	68.0%	65.9%	72.2%
3 学校と地域社会の関係に有益だった。	64.0%	65.9%	75.0%
4 生徒の新たな側面の発見があった。	78.0%	72.7%	77.8%
5 教育活動を考える契機となった。	36.0%	54.5%	25.0%
6 校区推進委員会が機能している。	36.0%	38.6%	27.8%

- ・トライやる・ウィークに向けて自分の生活なども見直しながら準備していた。事後も、学んだことを活かして、学校生活を送ろうと意識して何事にも取り組むことができている。とてもありがたい体験だと感じる。
- ・トライやる・ウィークを通して、あいさつの仕方や日常のふるまいなど社会的なマナーがとても良くなった印象を受けた。
- ・トライやる・ウィークの継続は必要。生徒の様子見ている、意義は大きいと感じた。各校で事前事後の取り組みをより大切にする必要を強く感じた。
- ・各事業所で生徒の頑張りを誉めていただけてることが多く、楽しんで帰ってきた様子がありました。急な対応を受けてくださった事業所もあり、子どもたちのために色々な経験をさせてくださり本当に感謝しています。
- ・生徒たちの希望にできるだけ合わせた活動をするためには、もう少し事業所の数や種類を増やす必要があると感じました。なかなか難しい面もありますが、早い段階から推進委員の方にも協力いただき、事業所の新規開拓の動きが出来れば良いと思いました。
- ・予算の削減や物価の高騰等により、予算内で実施できるか結構大変だった。その結果、タクシー生徒に最寄駅まで30分程度歩いてもらったりしたこともあった。そうならないようにするためには、登録していただいた事業所には申し訳ないが、できるだけ近くの事業所に行くようにするなど、初めから選択肢を絞っていても良かったかと思う。
- ・公共交通機関の本数等の関係で、統一訪問日の時間に行くためにかなり早い時間に出発し、長時間待機しておかなければいけない状況があった。
- ・生徒は良い表情で学校に戻って来ているので、間違いなくかけがえのない経験と思いを得ているのがよくわかります。続けていくべき行事だと思いますが、現場は煩雑になる一方の気がします。
- ・教員の事業所との打ち合わせにかかる時間確保が難しい。事業所と時間調整をすることも大きな課題。最悪、忙しい中での動きは個人情報等の漏洩を引き起こす要因ともなる。
- ・準備などが大変なので、取り組み方を改善した方が良いと思う。教職員の負担が多い。各学校の連携も密にしないとイケなかったように思う。

関係者アンケート（回答数 167人）

質問項目	R7 三田市	R6 三田市	R5 三田市
1 「そう思う」と感じた番号に○印をつけてください。			
①中学生の取組は意欲的だった。	88.7%	80.8%	85.2%
②5日間で生徒に変化が見られた。	52.7%	56.4%	50.0%
③中学生に対する見方が変わった。	27.0%	33.3%	25.6%
④地域にとっても有益な活動である。	69.5%	69.2%	72.2%
⑤学校と連携しながら実施できた。	58.1%	50.6%	51.1%
2 来年度も「トライやる・ウィーク」にご協力をお願いしますか。			
①積極的に協力したい	30.6%	51.3%	49.4%
②協力したい。	30.0%	21.8%	22.2%
③依頼があれば、協力したい。	28.7%	23.1%	25.6%
④協力は難しい。	0.6%	1.3%	0.6%
⑤未定。	10.2%	5.8%	2.3%
3 受け入れ先での社会体験において、生徒に身に付けてほしい力を選んでください。			
①達成感や自信	64.7%	67.3%	61.9%
②働くことの大切さ、厳しさ、楽しさ	67.7%	69.9%	60.2%
③人とふれあうことの楽しさ	65.3%	66.7%	64.8%
④コミュニケーションの大切さ	82.0%	82.1%	74.4%
⑤あいさつすることの大切さ	77.2%	76.9%	69.9%
⑥保護者や大人の人への感謝の気持ち	41.3%	42.9%	37.5%
⑦社会のルールやマナーの大切さ	58.7%	59.0%	56.8%
⑧地域とのつながりの大切さ	39.5%	39.1%	34.1%
⑨人のために役立つうれしさ	60.5%	51.9%	59.7%
4 「トライやる・ウィーク」以外にも、学校や生徒とつながり等がありますか。 ある場合はどのようなつながりですか。			
①あいさつや会話	10.2%	18.6%	11.9%
②学校の行事等への参加	10.8%	16.0%	14.8%
③事業所の行事等への生徒の参加	9.0%	10.3%	9.1%
④ない	58.1%	29.5%	57.4%
5 指導者の中に「トライやる・ウィーク」を体験された方がいる。			
①いる	42.0%	48.1%	50.6%

- ・生徒が事前に決意表明をされたので、それに基づいた計画が立てられた。それによって主体的に活動できた面が多かったと思います。
- ・職業体験は、自分たちの将来について考えるととても有意義な活動だと思います。事業所には、今後ともご迷惑とご苦勞をかけると思いますが、生徒の自分の未来の姿をイメージするためにも今後とも継続してほしい活動だと思います。
- ・初めての受け入れでしたが、中学生は思ったよりもみこみが早く、日に日に成長し、とても頼もしかったです。

- ・どの生徒も主体的に協力しながら活動していこうという姿勢が見られました。個々の性格や気質もあるので個々のペースを乱さないような声かけと無理のない活動にしました。疲れが取れないままに翌日を迎えてはいないか心配なこともありましたが、中学校に戻ってどんな振り返り等をしているのかが気になります。予定を先に伝えたことで、予め準備したり練習したりと中学校の先生方にも大変お世話になったようでお手数をおかけしました。今回の経験が彼らの引き出しの何かとなることを祈って止みません。こちらこそ貴重な時間をありがとうございました。
- ・自分自身がトライやるウィークでの体験でこの職業につきたいと思い、今同じ職業で働かせていただいています。
- ・トライやる・ウィークで中学生ながらに、社会で働くということを体験させていただき、働くことの責任の重さを感じたことを覚えています。
- ・実施にあたり、学校関係者の労力は大変なものであると想像できる。よって、取り組みにおいて、精選と簡素化できる場面を模索し、負担軽減に繋がるようにすれば持続可能なものになると思う。

保護者アンケートより（回答数 547人）

質問項目	R7 三田市	R6 三田市	R5 三田市
1 お子さんとの会話が増えた。	75.2%	76.6%	76.3%
2 我が子への見方が変わった。	45.2%	39.9%	45.9%
3 機会があれば、また参加させたい。	90.4%	88.5%	89.5%

- ・初日から表情が違っていました。日々の体験を聞いている私にも気持ちが伝わってくるほど楽しかったのが分かりました。たった一週間でしたが貴重な体験でした。
- ・イキイキとした目で、体験してきたことを話してくれました。コミュニケーションもとれたようで、我が子ながら新たな一面を見ることができました。事業所の方々、学校の先生方ありがとうございました。
- ・沢山の内容に挑戦できた5日間だったと思います。仕事の大変さ、職場でのマナー、人との関わり、色々な事を学ばせていただきました。子ども自身も今回の職場体験をととても充実した様子で取り組んでおりましたし、仕事に対する考えや興味も深まったようです。素晴らしい経験をさせていただき感謝しています。
- ・中学生のうちに表に見えている以上のことが色々な仕事にはあって、様々な人が関わっているのだということを実感する機会があるというのは非常に有用なことであり、子どもたちにとっても貴重な体験だと思います。
- ・先生方や受け入れ先の皆様の準備が本当に大変だったと思います。この経験を「やって終わり」ではなく、学校での生活や授業に繋げてほしいです。
- ・多くの方にお世話になり、子どもは感謝の気持ちや、尊敬、仕事の素晴らしさ、難しさをたくさん感じられたようです。